

2016年11月21日

「国際的街づくり」ワークショップ 開催報告書

本ワークショップは柏の葉キャンパスエリア国際化推進を目指し、実際にキャンパスエリアに居住あるいは勤務する外国人や近隣住民等より現状の問題点を聞き取り、今後どのような方策が考えられるかを検討するため行われた。

主催者である東京大学院新領域創成科学研究科の大島教授（国際交流室長）による挨拶に続き、最初に2部で予定していた公開ディスカッションが開催された（パソコンの不具合により）。その後、軽食を交えて参加者同士が懇談する場が設けられた。懇談会後には、1部の柏の葉キャンパスエリア近辺の国際化に関する取り組みについて、各分野からのテーマ3つのプレゼンテーションが行われた。参加者からの質疑応答も活発に行われ、UDCK 柏の葉アーバンデザインセンターの三牧副センター長による挨拶で幕を閉じた。内容は以下の通り。

日時：2016年11月16日（水） 18:00-20:00

場所：KOIL/ショップ&オフィス棟6階

主催：東京大学院新領域創成科学研究科

共催：UDCK、三井不動産、柏の葉キャンパス構想委員会地域国際化部会、
東京大学国際センター柏オフィス

後援：柏市役所

1部：柏の葉キャンパスエリア近辺の国際化に関する取り組み

1) 国際キャンパスタウン構想に基づく地域国際化の取り組み

UDCK 柏の葉アーバンデザインセンターの遠藤ディレクターより、UDCK 柏の葉アーバンデザインセンターの及び国際キャンパスタウン構想に基づく地域国際化の取り組みについての説明が行われた。また、地域国際化の方針を推進するため設置された、柏市、三井不動産、東京大学のメンバーによる地域国際化部会の説明が行われた。現在、柏の葉エリアに居住している外国人の生活上の問題やニーズ等の現状をヒアリング調査やアンケート調査を通じてとりまとめており、今後は国際化に対応した地域環境の充実を目指して活動していく旨、報告された。

2) 柏の葉スマートシティ

三井不動産株式会社柏の葉街づくり推進部事業グループの西林氏より、三井不動産の柏の葉キャンパスエリアのこれまでの歴史と今後の開発の取り組みが説明された。また、「公・民・学」の連携をベースにした柏の葉スマートシティのゲートスクエアと来週 11 月 22 日にオープンするアクアテラスについての紹介が行われた。

3) 柏市の在住外国人支援について

柏市役所地域づくり推進部協働推進課藤田氏より、柏市で行っている在住外国人を対象とする公共サービスについての説明が行われた。具体的な支援内容は、1) 多言語生活情報お役立ちセットの配布 2) 多言語相談窓口の開設 3) 災害時における情報の多言語メール配信 4) 帰国外国人生徒への支援員派遣がある。相談したい案件がある際には、柏市役所協働推進課に連絡して欲しい旨の案内があった。

2 部：公開ディスカッション 留学生たちに聞く！留学生たちと話す！

登壇者の東京大学大学院生及び研究者 5 名が自己紹介を行った。その後、柏の葉キャンパスエリアに住み始めて感じた便利なこと、不便なこと、望むこと等についての公開ディスカッションが行われた。司会者が各課題テーマの背景を説明した後、スピーカーへ質問を行う形式となった。最後に、来場者からの質疑応答を行った。課題テーマ及び来場者からのコメントは下記の通り。

課題テーマ

- ・学校
- ・交通（電車・バス）
- ・市役所での公的手続き関係
- ・通信、銀行（開設手続き、ATM 営業時間）
- ・礼拝の場所
- ・病院・薬局

来場者からのコメント、質問事項

- ・コンビニの ATM だと 24 時間営業である（ただし、手数料はかかる）。
- ・JR 柏駅付近には英語で礼拝をおこなう教会がある（ただし、留学生との宗派異なる）。
- ・緊急時に困ったときはどうするか？
→研究室の友人や柏の葉エリアの見ず知らずの住人に聞いたところ、親切に教えてくれて助かった経験がある。

当日の様子：



議事録：別紙1 参照

以上

「国際的街づくり」ワークショップ議事録

日時：平成 28 年 11 月 16 日（水）18：00-20：00

場所：KOIL / ショップ&オフィス棟 6 階

プログラム：1. 開会挨拶

2. 第 1 部 柏の葉キャンパスエリア近辺の国際化に関する取り組み

1) 国際キャンパスタウン構想に基づく地域国際化の取り組み

2) 柏の葉スマートシティ

3) 柏市の在住外国人支援について

3. 第 2 部 公開ディスカッション

4. 閉会挨拶

※当日プロジェクター不具合により、第 1 部と 2 部の一部順番変更あり

1. 開会挨拶

大島義人教授より、本日のワークショップ開催の背景が説明され、参加者全員が柏の葉エリアの地域国際化について考えるきっかけにして欲しい旨挨拶が行われた。

2. 第 2 部 公開ディスカッション

司会者である、Madison Carroll 氏より、現在は東京大学新領域創成科学研究科国際交流室の職員として勤務しているが、自身も 5 年前に来日したことから、これからディスカッションを行う全てのトピックについても経験があること。そして、一緒に解決の糸口を検討していきたい旨の自己紹介が行われた。その後、登壇者 5 名の自己紹介が行われ、学校、公共交通機関、市役所手続き、銀行・携帯、礼拝、そして、病院についてのディスカッションが行われた。自己紹介と各トピックのディスカッションは下記の通り。

自己紹介

Michael Padilla：フィリピン出身、9 月に来日。新領域創成科学研究科博士課程在学中。

Marlet Bueno：フィリピン出身、9 月に来日。新領域総裁科学研究科修士課程在学中。

Shubhakar Reddy：インド出身、9 月来日。研究者

Thomas Beauvuin：ベルギー出身、日本滞在 2 年。工学系研究科研究者。

Gary Anderson：カナダ出身。大気海洋研究所所属研究者（JSPS フェロー）

学校について

Gary：二人の子供たちは現在、遠隔（通信）教育を受けている。柏インターナショナルロ

ロッジに住んでいるが、子供たちの日本での編入先の高校は、とても高価で通わせることができない都内インターナショナルスクールしか選択がなかった。ロッジの隣にある公立学校を通わせることができたらとても良かったのだが、学校に行って直接お願いしに行くにも、言語面で非常にハードルが高いと感じた。1年未満の短期滞在外国人でも日本の公立学校に通わせることができれば、子供たちに日本独自の文化や社会について学ばせることができると思う。

公共の交通機関（電車・バス）

Madison: 日本の公共機関は驚くほど便利である。特に、電車は十分に英語表記されており、多くのウェブサイトで路線、時刻表、運賃情報が検索することができる。一方で、バスは英語表記が少なく、来日間もない外国人は利用しない傾向がある。

Michael: 日本の安全なところが大好きだ。フィリピンでは、電車に乗る際には盗難防止上、鞆を抱えて注意して乗車するが、日本ではそんな心配は無用。一方で、日本のバスが全て日本語表記である面が不便だと思う。来日して間もない頃バスに乗った際、バス中の表示が全て日本語、それも漢字だったので、停車ボタンがどれだかわからず、乗り過ぎて終点まで行ってしまったことがある。助けを求めたバスの運転手さんも英語が話せなかったため、自力でロッジまで歩いて帰った。バス内の地図やルート案内が英語表記されていると、外国人には親切だと思う。

Madison: 自分の経験からも、バスの始発駅で英語表記の地図みながら乗車しても、各バス停や時刻表や運賃等のバスの案内が全て日本語だった。これは、柏だけの問題ではなく、日本全国同様だと思う。公共交通機関への英語化取り組みは難しい案件だと思うが、地域の国際化を推進するには必要だと思う。

柏市役所手続き

Marlet: 来日後の市役所手続き書類が全て日本語だったので、自力で処理することが非常に難しかった。大学にはチューター制度があり、チューターが市役所にも一緒についてきて手続きを手伝ってくれた。市役所の職員の方はとても親切で丁寧に説明してくれたが、全ての会話が日本語だったので、理解が出来なかった。外国人にも優しい英文申請書類があると良いと思う。また、毎月国民健康保険の請求書が郵送されてくるが、全て日本語で記載されているため、チューターに全て聞いて理解している。同封の説明書だけでも英語版があると助かる。

Shubhakar : 教職員が加入する医療保険では、学生が苦勞していた毎月の請求者は届かないが、保険証が届いた際に同封されていた説明書が全て日本語で、自力では内容を理解することが出来ずに、親切なチューターに時間をかけて説明してもらった経験がある。年金制度も同様で、給与から年金や税金がどれくらい引かれているのかわからない。

携帯電話・銀行

Shubhakar : 公共 Wifi アクセスがほぼない国、インドからきたこともあり、日本の WiFi は非常に嬉しい。しかし、問題もある。日本では、全ての公的書類に電話番号を記載する欄があるが、携帯電話の開設には日本でのクレジットカード情報を記載しなくてはならず、クレジットカードを作るためには大学生協まで行く必要がある。日本で大学生協以外のクレジットカードを作るのことの難しさについては、他の外国籍の友人たちと話題になることもある。他には、26 か月以上の在留期間がないと SIM カードを購入できなかったの、在留期間が 12 か月の自分にはプリペイド SIM カードしか購入できなかった。プリペイド SIM カードは電話機能や SMS が出来ずにデータ通信のみであり、オンラインでの更新サポートが少ない。また、Micheal のように、電車を乗り過ごして苦勞した経験があった。乗車前に WiFi スポットにて路線情報を入手したのだが、乗り過ごした駅構内では、WiFi スポットがなく、片言の日本語で周りの人に助けを求め、帰り道を教えてもらった。SIM カードを購入し、常に通信データに接続できるようにすることが大切だと感じた経験だった。

Thomas : まず、携帯電話開設について、外国人は 2 年以上日本に住んでいないと原則契約が出来ない。結局オンラインショップから通常の 2 倍の費用で購入して購入することができたが、不公平だと思う。次に、銀行についてだが、日本の ATM は営業時間が短すぎるのと、海外のキャッシュカードやクレジットカード、また国内銀行等、利用するカードによって、手数料がかかったり、24 時間利用可能だったりと条件が異なることに驚いた。また、銀行口座開設の条件が厳しすぎると思う。銀行振り込みをする際に毎回電話での本人確認とピンコード入力の実用性があるのは、とても苦痛だった。

Madison : 銀行の開講手続きだけではなく、市役所の手続きについても、大切な個人的内容が多いので自力で処理したいのだが、言語の問題で第 3 者に助けしてもらわないといけないという状況を何とかしたい。

礼拝

Michael : カトリック教徒で毎週日曜日に教会に通っているが、柏の葉エリアでは毎週英語

で行う礼拝がない。千葉県内の教会に通う場合、英語礼拝開催日を確認して複数の教会を渡り歩かないといけない。それは不便なので、結局都内の英語で行う教会に毎週片道 1 時間半かけて通っている。柏の葉エリアにも英語で礼拝をおこなう教会があると国際的な街になると思う。

医療機関

Thomas : ラグビーの試合で怪我をすることがあり、病院に行くことが多いのだが、総合病院以外の近隣病院では、受診すべき診療科を探すことが困難である。平日だと大学にある学内医が健康上での相談に対応してくれるサービスがあるが週末は利用できない。親切に外部医療機関を紹介してもらっても、そこまでたどり着けない場合もある。受診できる病院が見つければ、医師は英語も話せるし、適切な処置をしてくれるので、とても感謝している。また、日本で薬を購入する際、一般的な薬はドラッグストアで購入できるが、病院で処方される薬を扱う薬局は、営業時間が短くとても不便であるので、改善して欲しい。

Madison : 私は病院での誤診の経験がある。病院側と受診者側双方に言語の壁があったとしても、病院に入った瞬間に安心できるような場であって欲しい。

来場者からのコメント・質疑応答

来場者 A : 私も外国人で、柏市に 5 年住んでいる。銀行についてのアドバイスだが、コンビニ ATM は、日本の銀行口座を持っていて、手数料さえ払えば 24 時間利用できて非常に便利だ。でも、もし日本の銀行口座を持っていないと話にあった通り、不便だと思う。もう一点は、宗派は不明だが、JR 柏駅の方に英語で礼拝をする教会もある。

来場者 B : 海外に住んでいる時の問題となるのは、病気や怪我をした時だと思うが、その時に柏の葉エリアではどのような経験や問題点などがあったか？

Thomas : 日本人の頼れる友人が沢山いて、困ったときは彼らが助けてくれる。その他にもわからないことがあったら、交番に行くよりも先に、見知らぬ通りかかった人に聞くことが多い。言語面での問題にも関わらず、いつでも親切に教えてくれるところがこのコミュニティの素晴らしいところだ。

3. 第1部 柏の葉キャンパスエリア近辺の国際化に関する取り組み

各分野より、テーマに沿ってプレゼンテーションが行われた。各プレゼンテーションの概要は下記の通り。

1) 国際キャンパスタウン構想に基づく地域国際化の取り組み

遠藤翼 (UDCK 柏の葉アーバンデザインセンター ディレクター)

- ・ 柏の葉アーバンデザインセンターの紹介
- ・ 柏の葉の街づくりは、「公・民・学の連携」が最大の特徴
- ・ 「柏の葉国際キャンパスタウン構想」に基づく国際地域化の取り組みの説明
- ・ 「国際化に対応した地域環境」を把握するため、柏の葉居住及び通学・通学の外国人に現状の生活面での問題やニーズについての調査を行い、今後取り組む内容を整理し、検討している16つの課題に取り組む予定である。

2) 柏の葉スマートシティ

西林加織 (三井不動産株式会社 柏の葉街づくり 事業グループ)

- ・ 柏の葉エリアの歴史
- ・ 今後の柏の葉街づくりへの取り組み

3) 柏市の在住外国人支援について

藤田一朗太 (柏市役所 地域づくり推進部 協働推進課)

- ・ 市内在住外国人向け生活情報お役立ちセットの配布
- ・ 市内在住外国人向け相談窓口の開設 (水・木・金 多言語対応)
- ・ 多言語メール配信サービスの提供
- ・ 帰国外国人児童生徒向け支援員派遣支援の提供
- ・ 在住外国人支援の窓口は協働推進課

4. 閉会の挨拶

UDCK 三牧副センター長より閉会の挨拶が行われた。

以上